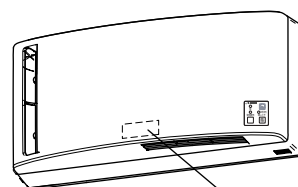
1011874HF3102

DAIKEN

24時間換気システム〈エアスマート〉専用部材
熱交換型換気扇　DKファンNK 11型
品　番
SB0908-K11(08タイプ)
SB0910-K11(10タイプ)

取付説明書　　工事店さま用

■取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■取付けは工事店さまが実施してください。(お客さまご自身で取付けないでください)

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

分解禁止

改造や必要以上の分解はしない
火災・感電・けがの原因

風呂・シャワー室での使用禁止

浴室など湿気の多いところには本体を取付けない
感電・漏電の原因

指示に従い必ず行う

交流 100V を使用する
直流や交流 200V を使用すると感電の原因

外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ
新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因

本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によるけがの原因

端子台への接続は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
接続に不備があると火災の原因

電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因

注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

壁取付専用のため、天井には取付けない
落下によるけがの原因

高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤がかかる場所には取付けない
火災の原因

指示に従い必ず行う

端子台カバーは電気工事後、必ず取付ける
ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因

取付けの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因

給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付け、断熱処理を確実に行う
雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因

ドレン排出は、取付説明書に従って確実に行う
水漏れによる感電・火災や家財の破損の原因

専用システム部材の室外フードを取付ける
雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因

取付け後長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く(※1)
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因

※1　電源プラグ付に変更の場合

お願い

- 中・高層住宅や海岸沿いなど外風の影響を受けやすいところでは、運転停止時に外風が侵入することがありますので、直接風が当たらないところに設置してください。
- 塩害・温泉害の発生しているところでは使用しないでください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上は離れたところに取付けてください。

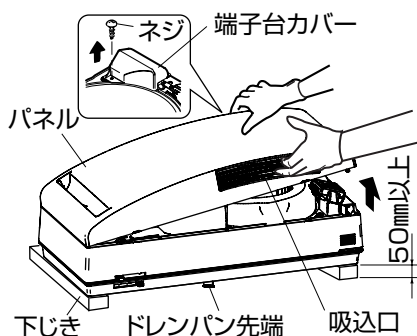
外形寸法図

使用部品

接続フランジ………1個	リモコン……………1個
パッキン……………1個	リモコンホルダー…1個
アルミテープ（大）…1枚	乾電池………………2本
アルミテープ（小）…1枚	取付ネジ……………1本

別売部品が必要です

この製品は同一本体で「よこ取付け」・「たて取付け」ができます。たて取付けには専用の給排気パイプが必要です。
三菱電機品番：P-30P2-T（お近くの電気店でお買い求めください）
※上記の他に室外フードが必要です。

取付けの前に

1. 取付板をはずす

本体背面のテープをはがして取付板をはずす
- ドレンパンの先端を保護するため右図のように下じきを敷く。
- 本体の傷付き防止のためダンボールなどを敷いてください。

2. パネルをはずす

図のようにパネルの吸込口の右側寄りに両手をかけて手前に引き上げる。
- パネルをはずした後、本体内部にネジなどが入らないように注意してください。

3. 端子台カバーをはずす

取付方法

取付手順

- 1.壁穴工事
  - ●取付位置決め
  - ●壁穴位置決め
  - ●壁穴開け
- 2.取付け前の準備
  - ●電源線の引き出し
  - ●接続フランジ
    - パッキン挿入
    - コーキング材の塗布
    - 給排気パイプの取付
    - パイプ接続部のコーキング
    - アルミテープの貼り付け
  - ●給排気パイプ
    - 切断
    - 取付板に固定
    - 断熱材の切断
    - 断熱材の巻き付け
- 3.取付板の取付け
  - ●取付板を固定する
- 4.本体の取付け
  - ●本体の固定
- 5.電気工事
- 6.パネルの取付け
  - ●パネルを取付ける
- 7.室外フードの取付け
  - ●室外フードを取付ける

1.壁穴工事

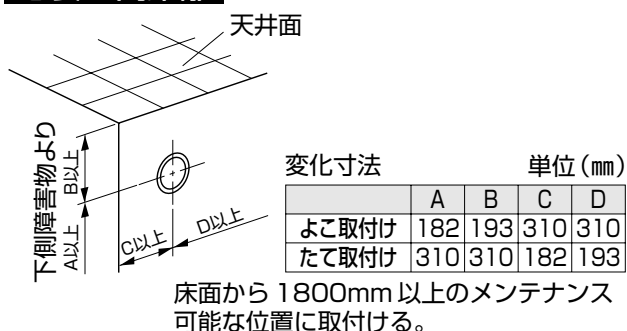
本体が変形しないように、取付位置が平らであることを確認してください。
（異常音などの発生する原因となります）

1.取付位置・壁穴位置を決める

必要空間距離

変化寸法　　単位（mm）

	A	B	C	D
よこ取付け	182	193	310	310
たて取付け	310	310	182	193

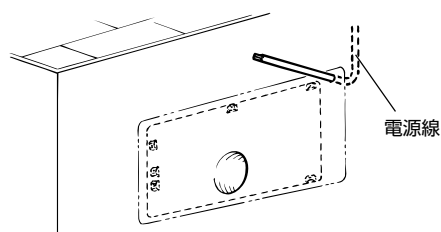
床面から 1800mm 以上のメンテナンス可能な位置に取付ける。

(1)同梱の型紙で **必要空間距離** (左図)を確認する。

- 室外から不快なにおいを給気しない位置であるか確認する。
- 壁内の補強材が取付板を固定できる位置にあるか確認する。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離す。

(2)壁穴位置の中心に印をつける。

2.φ120の壁穴をあける

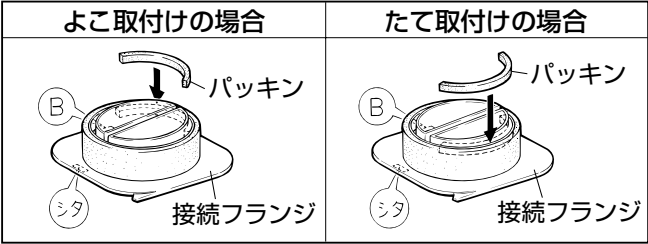
2.取付け前の準備

1.電源線を引き出す

(1)電源線取り出し位置を確認し、穴をあける。
(2)電源線を室内側へ引き出す。

メモ

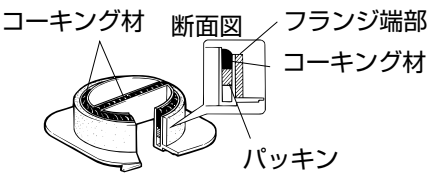
三菱電機品番（P-01DC、P-250DC）の電源コードを使用すると電源プラグ対応になります。
このときは電源線の引き出しは不要となります。

取付方法 つづき

2．接続フランジにパッキンを入れる

接続フランジのパイプ接続側の溝にパッキン（同梱）を入れる。

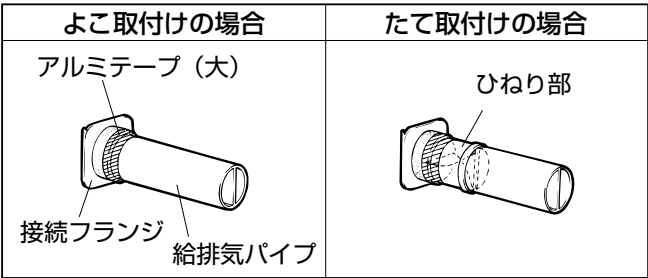
お願い

- このパッキンはパイプにこう配をつけるために入れます。
- 本体の取付方向でパッキンの位置がちがいます。

3．コーキング材の塗布

接続フランジにコーキング材を塗布する。

お願い

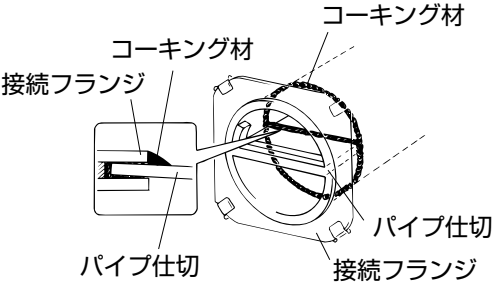
- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。

4．接続フランジを給排気パイプに取付ける

(1)給排気パイプを接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。
(2)接続フランジと給排気パイプにアルミテープ（大）（同梱）を巻き付けて確実に固定する。

- 確実に固定しないと、ドレン水が漏れるおそれがあります。

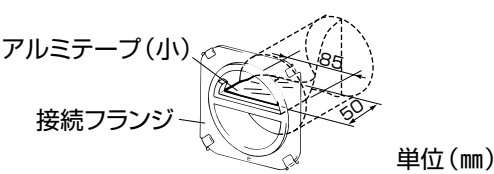
お願い

- たて取付けの場合必ず**「ひねり部」が室内側**へくるように差し込んでください。

5．接続フランジとパイプ接続部のコーキング

接続フランジと給排気パイプの接続部を内側からコーキングする。

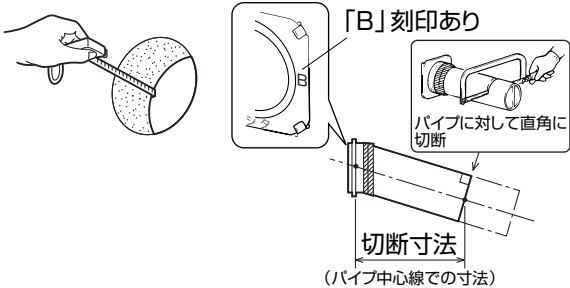
お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。
- コーキングが接続フランジよりも厚く塗らないでください。（ドレン水が排出されません）

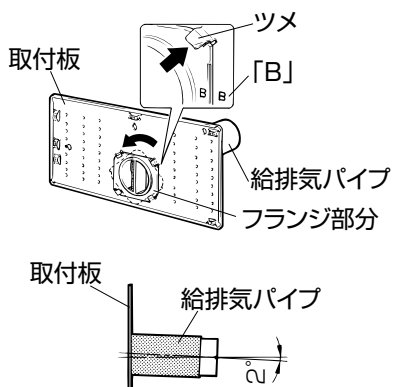
6．アルミテープ（小）の貼り付け（たて取付けの場合）

同梱のアルミテープ（小）を図のように貼る。

ミニ情報

- ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。

7．給排気パイプを切断する

(1)壁厚を測る。
(2)下表の寸法で給排気パイプを切断する。
　（室外フードによって切断寸法が異なります）

室外フード	切断寸法
1穴用防火ダンパー付フード(SB0899-K05) 1穴用A防音防火ダンパー付フード12型(SB0898-K40)	壁厚＋10㎜
1穴用フード(SB0899-K01) 1穴用A防音フード12型(SB0898-K30)	壁厚＋30㎜

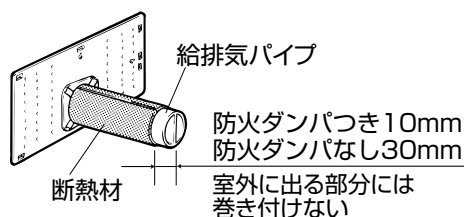
8．給排気パイプを取付板に固定する

（1）給排気パイプを取付板に差し込む。
（2）左回りに回転させて、接続フランジをツメに引っ掛ける。
（3）給排気パイプが右図のように室外側に向かって下りこう配になっているか確認する。

お願い

- フランジにツメが4か所ともかかっていることを確認してください。
- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。
- 給排気パイプが下りこう配になっていないと、ドレン水の逆流や雨水が浸入します。

9．断熱材の切断

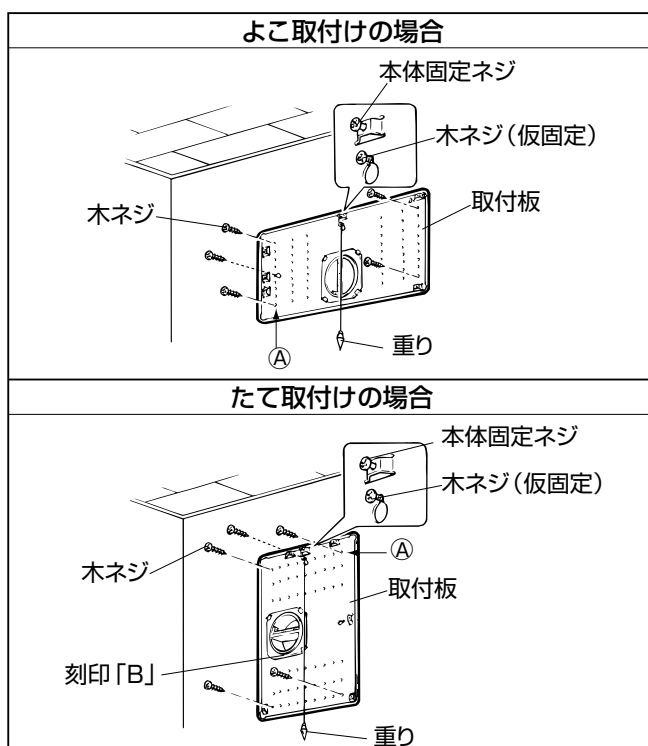
断熱材を壁厚寸法で切断する。

10．給排気パイプに断熱材を巻き付ける

切断した断熱材を給排気パイプに巻き付ける。

お願い

- 断熱材は室外へ出る部分には巻き付けないでください。フードが取付けられなくなります。

3.取付板の取付け

取付板を固定する

(1)給排気パイプを壁穴に通す。
(2)取付板を木ネジ１本で仮固定する。
　(最後に締め付けてください)
(3)本体固定ネジ１本を本体吊用として取付板に取付ける。
(4)重りを吊り下げて、取付板の水平を確認する。
(5)壁内の補強材のある位置に木ネジ4本で取付板を固定する。
(6)Ⓐ列中央を木ネジ1本で固定する。

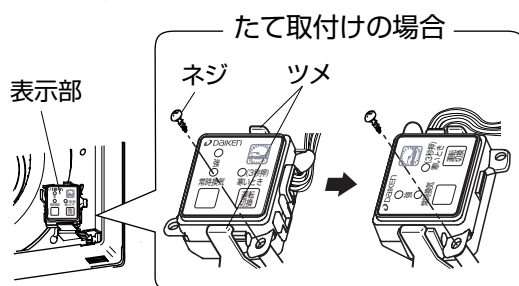
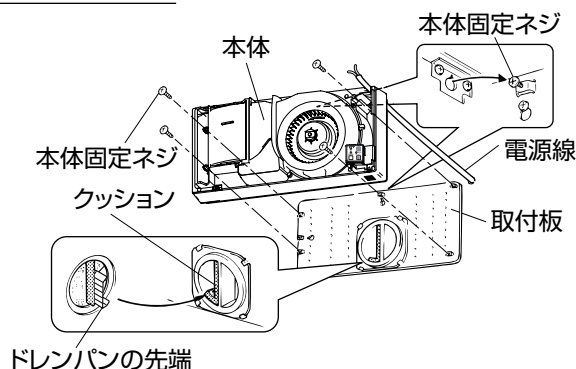
お願い

- できるだけ4すみの均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)
- たて取付けの場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。
- 電源線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。
  (取付板の位置がずれると電源線取出穴が本体からはみ出してしまいます)

取付方法 つづき

4.本体の取付け

本体の固定

※電源プラグ付に変更する場合は、先に「5.電気工事」を行う。

(1)電源線を引込口から本体内部に引き込む。
（電源プラグ付に変更の場合不要）
- 本体と取付板との間にかみ込まないようにしてください。

(2)取付板の本体固定ネジに本体を引っ掛ける。
- ドレンパンの先端を給排気パイプのクッションに乗せてください。

(3)本体を壁側に押つけて本体固定ネジ4本で固定する。
- 軸長150mm以上のドライバーを使用してください。

お願い

- 本体を吊るす本体固定ネジは仮固定ですので必ず本体を手で支えてネジ固定してください。

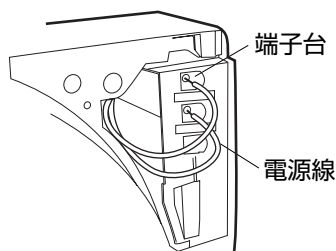
たて取付けの場合

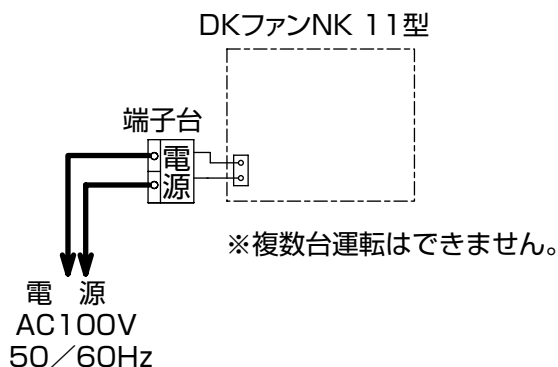
(1)表示部のネジ１本を取りはずす。
(2)表示部を本体のツメ2か所から取りはずして向きを変える。
(3)再度本体のツメ2か所にはめこみ、ネジ1本でしめ直す。

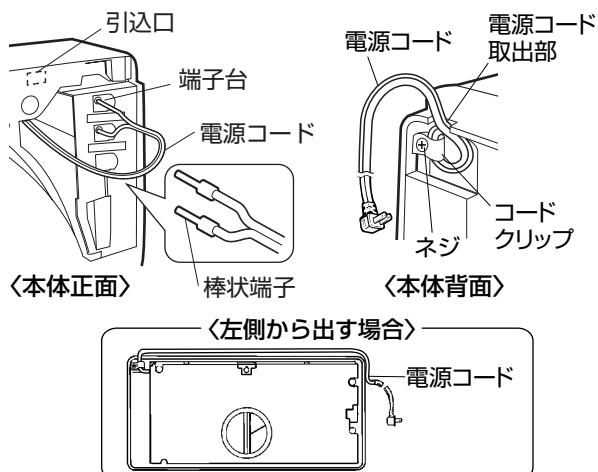
5.電気工事

⚠ 警告

- **交流100Vを使用する**　(直流や交流200Vを使用すると感電の原因)
- **端子台への接続は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する**
  (接続に不備があると火災の原因)
- **電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・確実に行う**
  (接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因)

1．結線をする

結線図　100V専用・誤結線注意

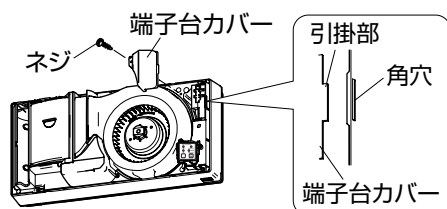
■太線部分の結線をする。
●適用電線：VVF単線φ1.6（皮むき寸法11mm）

(1)電源線を結線図のとおりに結線する。
(2)端子台から電線が抜けないことを確認する。

電源プラグ付に変更する場合

電源コードは以下のいずれかをお求めください
三菱電機品番：P-01DC（コード長約700mm）
P-250DC（コード長約2500mm）
（お近くの電気店でお買い求めください）

(1)本体の電源コード取出部の薄肉部を切り取る。
（電源コードが傷つかないよう端面のエッジ処理をする）
(2)電源コードを電源線引込口から端子台に引き込み結線する。
(3)本体背面でコードに同梱のコードクリップとネジで電源コードを固定する。（電源コードとコードクリップの向きに注意する）
(4)コンセントが左側にある場合は本体上に電源コードをそわせる。
(5)コード処理後、本体を取付ける。（「4.本体の取付け」参照）

お願い

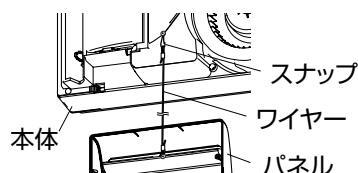
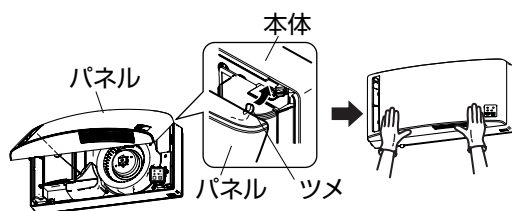
- 電源コードは、引っぱっても動かないよう確実に固定してください。
- 棒状端子は確実に端子台の奥まで差し込んでください。

2. 端子台カバーを取付ける

端子台カバーの引掛部を本体の角穴に差し込み、左側をネジ止めする。

お願い

- 電源線に無理な力がかからないように端子台カバーを取付けてください。

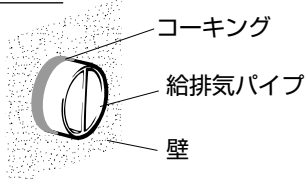
6.パネルの取付け

1. パネルのワイヤー（落下保護用）を本体のスナップに取付ける

2. パネルの片側2か所のツメをはめこみ、パネルを押しつける

※たて取付けの場合は、左右どちらからでも引掛けて、取付けることができます。

お願い

- たて取付けの場合は、表示部の向きを変えます。「4.本体の取付け」を参照してください。

7.室外フードの取付け

1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間を市販のコーキング材でふさぐ。

お願い

- すき間をふさがないと雨水が浸入します。

2. 室外フードの取付け

室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

取付け後の確認

■取付け終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検する。
■不具合があった場合は必ず直す。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

■チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付け	本体の取付け強度は十分ですか？	補強等を施す	
	本体が確実に取付けられていますか？	本体固定ネジを締め直します	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを閉じ直します	
	コーキングはしましたか？ (接続フランジと給排気パイプの接続部、室外フード)	コーキングをします (コーキングをしないと雨水が浸入します)	
	たて取付けの場合、表示部の向きを変えましたか？	表示部の向きを変えます	
	パネル落下保護用のワイヤーを付けましたか？	ワイヤーをスナップに付けます	
	電圧は 100V ですか？	100V に直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	

試運転

試運転はできる限りお客さま立ち合いで行う。

1.電源を入れる。
①. 分電盤のブレーカーを入れる。
②. 電源プラグをコンセントに差し込む。(電源プラグ付のみ)

2.チェック表に従ってチェックする。

■チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
試運転	羽根当り音がしていませんか？	パネルをはずしてゴミなどを取り除く (見える範囲のみ)	

3.運転状態の確認を行う
運転のしかたは、取扱説明書をご覧ください。

4. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する
①. 停止後、約10秒待つ。(電動シャッターが全閉になります)
②. 電源プラグをコンセントから抜く。(電源プラグ付のみ)
③. 分電盤のブレーカーを切る。

お願い
- 運転停止後すぐに電源を遮断しないでください。（電動シャッターが開いたままになります）

お客さまへの説明

●分電盤のブレーカーとコンセントの位置をお客さまへ説明してください。
●24時間換気システムとして常時運転が原則であることをお客さまへ説明してください。
●チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
●「リモコン」、「リモコンホルダー」、「乾電池」・「取付ネジ」をお客さまへお渡しください。
●この「取付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
●お客さまが不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人さまへ説明してください。

本社：〒530-8210　大阪市北区堂島1丁目6番20号　堂島アバンザ22F

お問い合わせ
建築音響部　サウンドセンター
（東京）電話（03）6271-7785（岡山）電話（086）262-0198